

**各位殿**

**特定非営利活動法人 日本臨床研究支援ユニット  
JPOP-VOICE**

**「がんと向き合う ～血液がん～」の開始にあたって**

JPOP<sup>®</sup> (Japan Public Outreach Program)とは、「生活習慣病の予防と治療」および「疫学研究・臨床研究」に対する人々の意識向上をはかることを目的に、NPO 法人日本臨床研究支援ユニット(J-CRSU)が行っている広報事業であり、社会に向けた正しい医療情報の提供を行っております。

その事業のひとつとして、病気の体験者やそのご家族、そして医療従事者の方の思いを動画でご紹介していくウェブサイトが「JPOP-VOICE」です。

これまで、「統合失調症」、「がんの痛み」に注目した動画や、「大腸がん」の患者さんの悩みや思い、そして支援者の方々や医療者のお話を伺った動画を配信してまいりました。

(<http://jpop-voice.jp/>)

2012年9月6日「造血幹細胞移植推進法(正式名称:移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律)」が国会にて全会一致で承認され、血液がん患者さんの治療に、新たな時代を迎えました。

そこで、J-CRSU では、造血幹細胞移植に関わる、患者さんや骨髄提供者(ドナー)の方々、また、日々患者さんたちの治療に奮闘される、医療者の方々、そして、そのそれぞれを支援している人々の「思い」を伝えるための動画を配信することといたしました。

患者さんあるいはそのご家族の治癒への「期待」、前処置や術後の「不安」、そして、ドナーの方々の安全性への「懸念」など、まだまだ、造血幹細胞移植には、解決すべき問題はありますが、少しでも多くの情報を関係の皆さんに、お届けできればと考えております。

この JPOP 活動が、国民と医療社間の情報落差を縮め、患者主体の医療を実現するための一助となれるよう、皆さま方の力強いご支援をお待ちしております。

2013年 3月吉日

特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット 理事長 大橋靖雄

※JPOP<sup>®</sup> は、2004年に財団法人パブリックヘルスリサーチセンターが、発足させた事業ですが、2012年11月からは、運営の主体を特定非営利活動法人日本臨床研究支援ユニット(J-CRSU)に移し、J-CRSUで行っている事業と連携を図りながら、役立つ医療情報を提供してまいります。